



避難所での炊き出し  
(写真提供=第一コンサルタンツ)



多賀城市災害ボランティアセンターでの受付  
(写真提供=第一コンサルタンツ)



# 震災復興

## 右城社長含む社員14人が 炊き出しやボランティア

### 第一コンサルタンツ

第一コンサルタンツは、高知県内の有志により結成された「高城県を支援する高知応援隊」に副隊長を務める右城猛社長を含む社員14人が参加し、6月17～20日に高城県内で炊き出しやボランティア活動を行った。

「東日本大震災を経て、自らの目で見ると大きくなり、南海地震に備えるためにも技術的に学ぶことや防災教育などはどう

来年の南海地震に備えるためにも技術的に学ぶことや防災教育などはどう

道で見ていたが、実際に港・七ヶ浜町を視察。基礎部分を残し流された建物など自然の猛威を目の当たりにして言葉を失った原田翠永氏は振り返る。

18日は、南三陸町と気仙沼市の2班に分かれ炊き出しを行い、高知産の食材をどんどん使いつたガーライズ、ミネス

トローネースープ、鶏の唐揚げ、ナスのタタキなどと振る舞った。「みんなおいしい」と喜んでくれたといい、この時に被災時

体育教室やよさこい鳴子踊りで避難所に笑い戻る

役立てるが、ハード面とソフト面から対策を考える必要がある。そのためには社員全員が一丸となってやらないといけない。今回は絶好の機会」と右城社長は声を掛けたところ、社員13人が参加を申し出た。

17日、仙台駅に着いた一行は、多賀城市・仙台港・七ヶ浜町を視察。基礎部分を残し流された建物など自然の猛威を目の当たりにして言葉を失った原田翠永氏は振り返る。

18日は、南三陸町と気仙沼市の2班に分かれ炊き出しを行い、高知産の食材をどんどん使いつたガーライズ、ミネス

トローネースープ、鶏の唐揚げ、ナスのタタキなどと振る舞った。「みんなおいしい」と喜んでくれたといい、この時に被災時

の状況も聞き涙が止まらなかつたという。炊き出しの後は、体育教室、よさこい鳴子踊りと焼き、

避難所の人たちも笑顔を取り戻した。「震災があつた最初の1ヶ月は絶望感がもう這いつぶれるし

かない」と特に高齢者は非常に前向きで明るかった」と原田氏は避難所の様子を語る。また「現地へ

で話を聞いて初めて分かることがある。特に逃げ

る時は冬服よりも飲み水

で話を聞いて初めて分かることがある。特に逃げ

る時は冬服よりも飲み水

で話を聞いて初めて分かることがある。特に逃げ

る時は冬服よりも飲み水

で話を聞いて初めて分かることがある。特に逃げ

る時は冬服よりも飲み水

で話を聞いて初めて分かることがある。特に逃げ

いる。右城社長は、「こちらから情報を発信し全国の人々が見ることで、意見や感想が返ってくる」と意図を語る。参加した社員からは、「現地に行って良かった。高城県で体験したことを、今後起りうる南海地震に生かさんといけない」などの声が聞かれ、右城社長も

したことを、今後起りうる南海地震に生かさんといけない」などの声

が聞かれ、右城社長も

「今まで経験がないので、地震津波対策の知識も出なかったが、現地へ

行ってからは出でるよ

うになった」と手ごたえ

をつかんでいる。

右城社長は決心した。

5年以内に津波、液状化

斜面崩壊の恐れがな

い場所に本社を移転し、震度7にも耐えられる社

屋を建設する」ということ

だ。すでに社員全員に伝

えていく。自らのレポートでは、第一コンサルタントには仕事をある、笑顔がある、未来があると

社員から言われるように

してもらっていた。

理町を回った。その結果、「鉄筋コンクリート造の構造物は津波に対して強い」津波以上に、コンテナ・船舶・流木などの漂流物が住宅や電柱・橋梁などを破壊しているので、

はいかない」など津波対策の教訓を得た。

ボランティア班は、多くの被災者や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

館や民家、焼き肉店で活動を行った。体育館のフ

エコ活動に取り組む

### 第一株式会社第一コンサルタンツ

代表取締役社長 右城 猛 [工学博士] [技術士(建設部門)]

本社 高知市高須新町3丁目1番5号 TEL(088)884-1330 FAX884-3783  
多支店 四万十市右山336-2 TEL(088)34-2702 FAX 35-2723  
松山事務所 松山市空港通1-3-2 TEL(089)972-4383 FAX972-4725